

第321号



# HYOGOニュース

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会  
〒651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-38  
TEL 078-271-0255 FAX 078-271-0256  
E-mail info@hamt.or.jp

編集委員  
鳥居良貴 / 増井 裕 / 小原 望 / 山崎美佳  
小松敏也 / 松田武史 / 真田浩一 / 藤本宏巳

臨床検査情報センター  
URL <http://www.hamt.or.jp>

今月号の内容

- 第65回日本医学検査学会を終えて ..... 1~3
- 《行事予定表》 ..... 4~5
- 《賛助会員コラム》・《各部局報告》・《求人情報》 ..... 6~7



## 第65回日本医学検査学会を終えて

学会長 中町 祐司

(公・社) 兵庫県臨床検査技師会会長



Opening Ceremony 会場

平成28年9月3日(土)・4日(日)の2日間にわたり、神戸ポートピアホテル、神戸国際会議場および神戸国際展示場で第65回日本医学検査学会を開催いたしました。本学会は初めての試みとしてIFBLS2016(第32回世界医学検査学会)、第63回日本臨床検査医学会学術集会、第11回日本臨床検査学教育学会学術大会と同時開催となり、この週は臨床検査学会週間となりました。日本医学検査学会と日本臨床検査医学会の総参加者は6,500名を超え、大盛況のうちに終了することができました。

少子高齢化が急速に進み医療改革が行われる中、国民の健康増進を第一に考えて臨床検査は進化しなくてはならないとの思いから学会のテーマは「challenge 伝統の継続と未来への進化」とし開催されました。

この学会は日本臨床検査医学会との共催で特別講演やシンポジウムなど多くの特別企画を行いました。一部の一般演題にはコメンテーターとして臨床検査医の先生方に進行をお願いするとともに、日本臨床検査医学会のすべてのセッションに参加できるようにしました。また、「世界の臨床検査技師」やIFBLS2016の「Opening Ceremony」「Keynote Speech」などにも参加することができ、病態の理解を深め、海外の臨床検査技師の方々や臨床検査医の先生方と交流することで、より幅広い視野で将来に向けて今、何にchallengeすべきかを見い出せたと思います。

特別講演は元京都大学総長 井村裕夫先生に「先制医療」についてご講演をいただきました。先制医療とは病気の発症前に予測し、あらかじめ予防的な治療を行うことにより病気の発症を遅らせる医療行為で、臨床検査の進化に期待が寄せられる内容でした。

両学会で特別講演は2題、招待講演は1題、シンポジウムは19セッション、病棟業務ミニシンポジウムは6セッション、教育講演は13セッション、日臨技企画は7セッション、R-CPCは2セッション、市民公開講座は1題、スキルアップセミナーは7セッション、一般



IFBLS2016の式典に出席される秋篠宮さまご夫妻  
(神戸新聞 平成28年9月4日)

演題は771演題、企業展示は86社でした。兵臨技の各研究班班長が企画した、スキルアップセミナー、シンポジウムや教育講演は大盛況となりました。また、本学会では従来からの・WEB抄録を一新したさらに利用しやすいWEB抄録(Web版、アプリ版)を採用し、プログラム検索やスケジュール登録・管理が可能となり、参加者から高い評価を得られました。これらにより参加された方々の学術、技術の向上に寄与できたと思っています。そして、ご参加された方々がこれからの臨床検査を切り開き、臨床検査を通じた社会貢献へ繋がっていくことを願っています。

最後になりましたが、兵庫県臨床検査技師会会員を始め、ご協力いただいた皆様やご参加いただいた皆様に深く感謝いたします。



日臨技国際交流企画「世界の臨床検査技師」の座長：  
前IFBLS会長 小松京子先生(がん研有明病院)  
本学会長 中町祐司先生(神戸大学医学部附属病院)



## 第65回日本医学検査学会を終えて

—実行委員長として—

実行委員長 真田 浩一

(公・社)兵庫県臨床検査技師会副会長

まずは、第65回日本医学検査学会にご協力・ご参加いただいた全ての皆様に厚く御礼申し上げます。

今回の学会は単なる過去のトレースではなく、本来のあるべき姿や今後の方向性を示唆する学会であることを意識しました。特に力を入れた3点について述べます。

### 【病態の理解を深める】

少子高齢化による医師数減少対策として、他の医療職種への権限と責任の委譲が進む中、臨床検査技師の立ち位置はまだ不透明であり、「検査のことは臨床検査技師に任せる」と言うためにも不断の努力が必要です。特に病態の理解を深めることが重要であるとの観点から、日本臨床検査医学会との同時開催とし、医師とディスカッションのできる場を設定しました。

### 【効率的な学会運営】

社会情勢的に本来業務を犠牲にして学会準備に集中することは不可能に近くなっていることおよび経費削減を考慮し、準備から開催に至るまで可能な限りイベント会社に業務を委託しました。学会スタッフは兵臨技理事を中心とした29名で構成し、月1回の会議とメールによる連絡で情報を共有しました。

また、展示に関しても日本経済の低迷を考慮し、経費が捻出しやすいような企画を提案しました。具体的には、例年最終日の午後は来場者が激減すること、および、今回は日本臨床検査医学会の同時開催により、機器購入に決定権をもつ先生方が多数来場されることを根拠に、展示期間を学会開始前日の午後から最終日の午前までに変更しました。

### 【ITの活用】

インフラ環境の進歩に併せて紙の抄録集を廃止し、Web抄録のみとしました。代わりに、プログラム検索やスケジュール登録ができる「My Schedule」サービスと無料Wi-Fi環境を提供す

ることで、参加者の利便性を図りました。

また、全員参加型スライドカンファレンスにスマートフォンによるリアルタイムアンケート集計を導入しました(利用したソフトは兵庫技会員が開発したオリジナルです)。

伝統の継続は安定感をもたらしますが、進化は望めません。一步先へ踏み出すため、今回我々は「Challenge」を選択しました。結果的には、演題数、出展数、来場者数とも目標を大きく上回り、数字上は成功を納めましたが、その過程は決して平坦なものではありませんでした。皆様にご迷惑をお掛けした面も多々あるかとは存じますが、熱い気持ちの表れとしてご容赦願います。この学会がきっかけとなり参加者の皆様一人一人がきっと何かに「Challenge」し始めてくれると信じて筆を擱きます。



会場視察される秋篠宮さまご夫妻 同行される日臨技宮島会長



学会記念式典



市民公開講座



IFBLS 2016 (第32回世界医学検査学会)



IFBLS 2016 (第32回世界医学検査学会)



第65回日本医学検査学会



第65回日本医学検査学会





賛助会員

ヨラム [54]



東ソー(株)

## 化学の力で診断の現場を支える TOSOH

梅本 祐也 (大阪支店 バイオサイエンスグループ)

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今月は東ソー株式会社の紹介をさせていただきます。弊社は1935年、旧社名である東洋曹達工業株式会社として山口県にて創業を開始致しました。現在の社名となったのは1987年ですが、旧社名の通り、当初はソーダ灰の製造を主力事業として経営をスタートさせた会社です。その後、複数の企業との合併を経て事業内容を拡大しつつ、現在では無機・有機化学品などを生産するクロル・アルカリ事業、プラスチックなどを生産する石油化学事業、そして検査室でお使い頂いている臨床検査機器・試薬などの製造を手掛ける機能商品事業の3つを柱として、「化学の革新を通して、幸せを実現し、社会に貢献する」という企業理念の下、様々な分野において社会の発展に貢献し続ける企業を目指して邁進しております。

臨床検査機器・試薬分野において弊社は、免疫診断、グリコヘモグロビン分析、遺伝子検査を中心として事業展開しています。特徴ある技術をもとに製品のラインアップを拡充し、国内のみならず海外にも販売拠点を設けてグローバルに事業展開しています。また、機器や試薬の開発・製造・販売からメンテナンス、カスタマーサポートに至るまで、東ソーグループが自社で責任を持って行っています。近年では全自動化学発光免疫測定装置AIA-CL、自動グリコヘモグロビン分析装置HLC-723G11、自動遺伝子検査装置TRCReady-80等を上市し、検査業務の効率化やより迅速な検査結果報告に対応できる製品群を取り揃えて参りました。これからもより良い製品の開発と顧客サポートの充実に取り組み、皆様方の業務の一助となれますよう精進して参ります。今後とも東ソー株式会社を何卒よろしくお願い申し上げます。



自動グリコヘモグロビン分析計 HLC-723G11



全自動化学発光酵素免疫測定装置 AIA-CL2400

## 各部局報告

## 組 織

## 新入会員研修会および施設交流会 (8月6日)

## ● 新入会員研修会に参加して

中原 佳佑 (県立西宮病院)

臨床検査技師として働き始めて5か月が経ち、徐々に業務にも慣れてきましたが、今回新入会員研修会に参加させていただき、改めて自身の採血技術や患者対応、感染対策を再確認する良い機会となりました。

採血業務の講演では、以前より疑問に感じていた溶血について考えられる原因を挙げていた  
だき、一つにアルコール消毒後の乾燥が不十分な場合に溶血が起こるということを教わり勉強  
になりました。感染対策の講義では、検査室や採血室等で、清潔区域と汚染区域を区別する場合、  
全員がそれを認識していなければ感染対策は成立しないということを教わり、感染対策の厳し  
さを改めて学びました。

臨床検査技師として重要な業務の一つである採血業務、日々  
血液や尿、臓器等の検体を取り扱う立場として必要とされる  
感染対策は、新人職員にとっても重要であり、またこれから  
働き続ける上で向き合うべき問題だと考えます。研修会を通  
して学んだ事を業務に活かし、より良質な医療を提供できる  
ように、日々自己研鑽に努めてまいりたいと思います。



作田 健太郎 (兵庫医科大学病院)



先日は、新人会員研修会および交流会に参加させて頂きま  
して、本当にありがとうございました。

研修会では、検査の始まりとなる採血と感染制御について  
学びました。私はローテーション研修で採血業務を経験して  
いたため、今回の研修会で手技や大事なポイントを復習することができました。また、採血す  
る際に難しく感じていた駆血帯の巻く強さについても、どのようにすれば良いか再認識するこ  
とができました。さらに感染制御では、感染対策の公式「 $100-1=0$ 」がとても印象に残っています。  
「集団での感染制御は、その集団に1人でも感染対策していない人がいると、その対策に意味が  
ない」ということが私にとって新しい知見であり、医療従事者としてその1人にならないように  
細心の注意を払わなければならないと感じました。

今回、交流会に参加したことで、他の病院や施設の同じ世代の方と  
の繋がりを築くことができ、このような横の繋がりを同じ病院内での  
縦の繋がりと同様に大切にしていきたいと思いました。今後もこのよ  
うな研修会や交流会に積極的に参加したいと思います。この度は貴重  
な機会を頂きまして、心から感謝申し上げます。



## 求人情報

\*詳細は求人先に各自お問い合わせください。

### ●高砂市民病院

交 通：山陽電鉄「荒井駅」下車 徒歩3分  
採用条件：正規職員2名(平成29年4月2日付)  
業務内容：検査業務全般  
連 絡 先：079-442-3981 内線5260  
(総務課 管理係)

### ●姫路愛和病院

交 通：山陽電鉄「亀山駅」下車 徒歩5分  
採用条件：パート 月～土曜日8:30～12:30  
業務内容：健診業務(採血等)  
連 絡 先：079-234-6629 (総務課係長 伊東)

### ●兵庫県立淡路医療センター

交 通：洲本高速バスセンター下車すぐ  
採用条件：臨時職員  
業務内容：検査業務全般  
連 絡 先：0799-22-1200 (検査部 真田)

### ●医療法人社団 董会 伊川谷病院

交 通：地下鉄「伊川谷駅」より神姫バス57  
系統「池上2丁目」下車すぐ  
採用条件：正社員  
業務内容：血液、生化学、血清一般、生理  
エコーを学びたい又はエコー出来る  
方歓迎  
連 絡 先：078-974-1117 内線508  
(診療技術部 松本)

### ●姫路赤十字病院

交 通：JR、山陽「姫路駅」より神姫バス日  
赤病院前下車  
採用条件：非正規職員  
業務内容：生理検査(主に心電図等)  
連 絡 先：079-294-2251 内線3218  
(人事課人事労務係)